

自閉スペクトラム症(ASD)を抱える“ハル”と
そのパートナー“マキ”の視点を交互に描いた物語



ハルくんの世界 マキちゃんの世界

濱田真季 長野伸乃助

玖巳凧 / 悠木紫真 / 小阪威典 / 田村龍佑 / 萌

牧村柚和 / 結城和子 / 春園幸宏 / 本橋佳代子 / 澤晶広 / 松本高士 / 山下夏望 / 秋野隆宏 / 丹羽麻佑子 / 町田順太郎

撮影監督 大河原駿 / 照明 三宅聡子 / 音楽 鶴喰歩

プロデューサー・脚本・監督 今成竹彦



製作 一般社団法人myイマココ



[あらすじ]

自閉スペクトラム症(ASD)を抱えているハルは自分と他者に大きな隔たりを感じている。普通に寄せて生きようとしてもうまくいかず他者と壁をつくっていくことでなんとか自分を守って生きてきた。一方、なんでもそつなくこなすマキは親の支配下で職場と自宅を往復する毎日。自分より他者を優先するあまり自分の存在を感じられずに生きてきた。そんな2人はハルの母親である恵が大病を患い訪問看護師としてマキが訪れることで出会う。恵の死後、失意のどん底にいたハルは看護師を辞めていたマキと偶然再会する。対人関係は消極的なハルだったが、マキに対しては積極的にアピールでき、プロポーズしてしまう。最初は戸惑っていたマキもハルの誠実で真っ直ぐなところに惹かれて結婚を決意。2人の新婚生活がはじまり最初は順風満帆に思えたが生活をとにもすることで徐々に関係性が変わっていき・・・



[製作経緯]

カップルや夫婦など近い関係にある人たちから「わかってもらえない」「いるだけでむしゃくしゃする」そんな相談を心理カウンセラーという立場で立ち会わせてもらうことがあります。出会った当初は愛し合っていたはずの2人がいつからかいがみ合ったり、好きであってもなにか理由があって別れる選択をとる。どちらの話を聞いても言い分や記憶されている事実も食い違い、どちらが正しいか間違っているかということを主題に置くと解決どころか争いは激化していくことがあります。自分の見ている世界と相手の見ている世界はそれだけかけ離れている。そんな気づきからこの作品を製作することを決めました。(監督 今成竹彦)

ゆうばり国際ファンタスティック思い出映画祭2025 上映作品
[ファンタスティック・ゆうばりコンペティション部門]

2025.10.19(日)
あ・りーさだの杜[体育館]12:15上映！